

ふくおかの経済

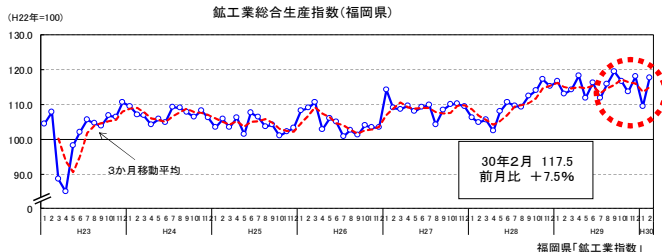
平成30年4月号



生産

高水準で推移

2月の生産指数は、輸送機械などが上昇して、前月比で2か月ぶりに上昇したため、引き続き高水準で推移しています。

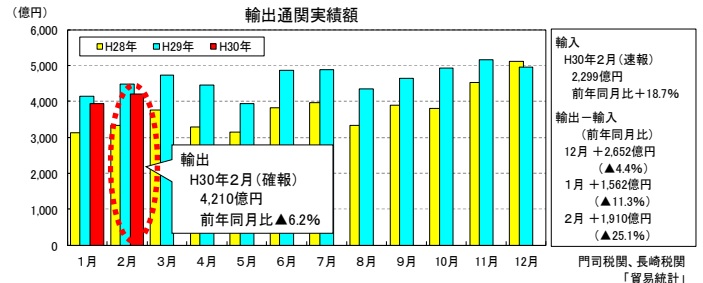


鉱工業生産指数は、平成22年の生産水準を100として、その変化を表しています。

貿易

輸出は高水準で推移、輸入は回復している

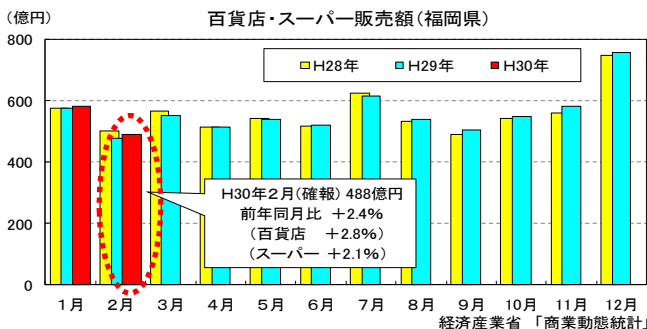
2月の輸出は、米国向け自動車やアジア向け半導体等電子部品などの減少により3か月連続で前年を下回ったものの、引き続き高水準で推移しています。



消費

緩やかに増加している

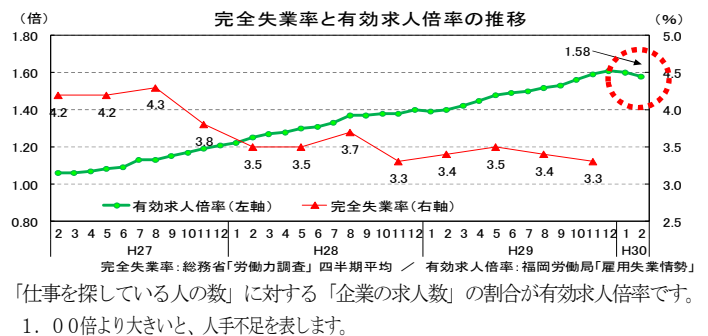
2月の百貨店・スーパー販売額は、春節に来店した訪日外国人の効果で、化粧品や高額品の売れ行きが好調だったことなどから、7か月連続で前年を上回りました。



雇用

着実に改善が進んでいる

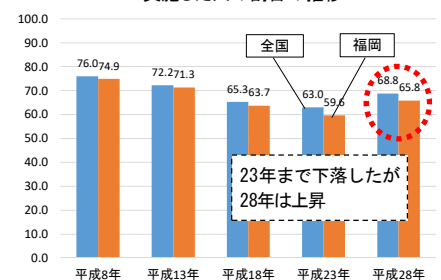
2月の有効求人倍率は1.58倍で、2か月連続で前月を下回ったものの、昭和38年の統計開始以来、過去最高水準で推移しています。



今月のピックアップ 運動への意識が高まる高齢者 ～関連消費も盛り上がる?～

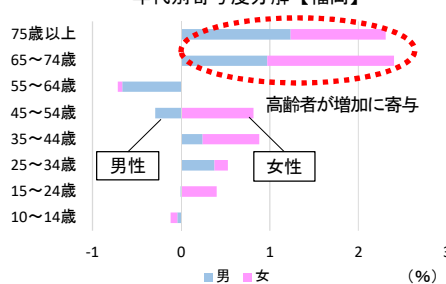
- 東京オリンピックを2年後に控え、スポーツへの関心が集まっています。全国と福岡県における運動・スポーツを実施した人の割合の推移をみると、平成23年を底に上昇しており、平成28年では6割を超える実施率となっています(図1)。
- 福岡県における運動・スポーツ実施率の増加要因(平成23年から28年)を年齢・男女別にみると、65歳以上の高齢者が男女ともに上昇に寄与しています(図2)。特にウォーキングやジムでのトレーニングなどの実施率が上昇しており、高齢者が積極的にこれらの運動に取り組んでいることがうかがえます(図3)。
- また、全国の家計消費をみると高齢者世帯のスポーツクラブへの消費が上昇しており、関連消費も盛り上がっているようです(図4)。

図1 年に一度以上運動・スポーツを実施した人の割合の推移



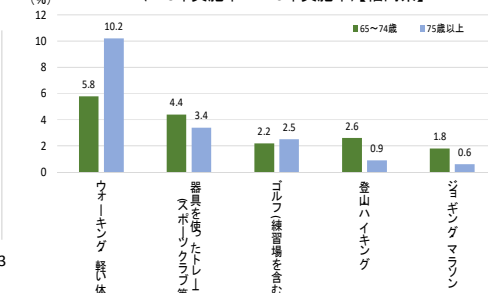
資料) 総務省「社会生活基本調査」

図2 運動・スポーツ実施率上昇割合(H23～28)の年代別寄与度分解【福岡】



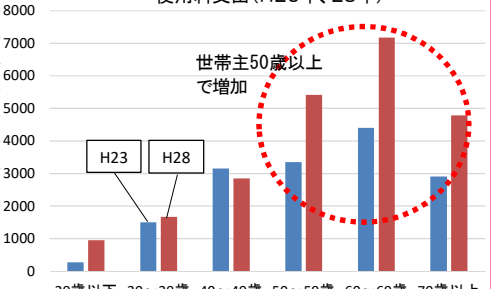
資料) 総務省「社会生活基本調査」

図3 高齢者において運動・スポーツの実施率が伸びた上位5種目(H28年実施率-H23年実施率)【福岡県】



資料) 総務省「社会生活基本調査」

図4 全国における1世帯あたりのスポーツクラブ使用料支出(H23年、28年)



資料) 総務省「家計調査」

(トピック担当: 分析1班 黒岩)